

事業概要シート

施策：健康づくりの推進

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 糖尿病性腎症重症化予防事業	拡充	予算額	4,056 千円
		《 》	3,514 《 》
財源内訳		国庫支出金	939 千円
		県支出金	3,117 千円
		地方債	千円
		その他	千円
		一般財源	千円

【事業の目的・概要・対象】

《対象》

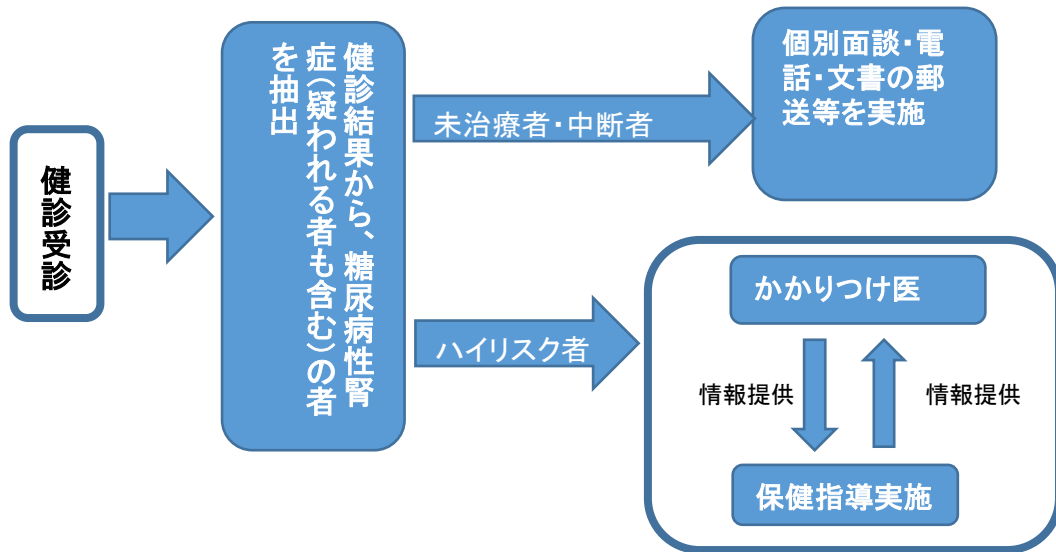
大村市国民健康保険の被保険者で40～74歳の者及び長崎県後期高齢者医療の被保険者である大村市民のうちの糖尿病性腎症患者（疑われる者も含む）

《目的》

対象者に対して、糖尿病性腎症の重症化を予防することで糖尿病による新規人工透析導入者の減少につなげ、医療費の抑制を図る。

《概要》

1. 対象者の内、重症化するリスクの高い医療未受診者・受診中断者に対し、適切な受療行動をとることができるよう支援する。
2. 糖尿病性腎症患者（疑われる者も含む）に対し、かかりつけ医と連携し管理栄養士及び保健師が生活・栄養指導を実施する。



【背景】

糖尿病患者数の増加が課題となっており、糖尿病は放置すると網膜症・腎症・神経障害などの合併症を引き起こし、市民のQOLを著しく低下させるのみならず、医療費が増加し市民に大きな負担を強いることとなる。

担当課	福祉保健部国保けんこう課	問合せ先	0957-53-4111（内線141）
-----	--------------	------	---------------------

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	事業参加者数	人	7	909	909	909	909
②							

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	検査値が改善・維持している者の割合 (検査値が改善・維持している者の割合)	%	57.1	57.1	60.0	60.0	60.0
②	大村市国民健康保険の被保険者で新規人工透析導入の患者の内、糖尿病性腎症の人数（腎不全協会資料より）	人	7	7	7	7	7

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費			2,974	3,514	4,056	4,056	14,600
国庫支出金					939	939	1,878
県支出金			2,898	3,467	3,117	3,117	12,599
地方債							0
その他							0
一般財源			76	47			123
人件費			3,912	6,815	6,815	6,815	24,357
職員				0.90人	0.90人	0.90人	2.70人
時間外勤務				135h	135h	135h	405h
嘱託員							0.00人
フルコスト	0	0	6,886	10,329	10,871	10,871	38,957

妥当性 (市の関与)	保険者として被保険者の健康増進と医療費の増加抑制のため、市が実施主体となることは妥当である。また、H28年度から前倒しで実施されている保険者努力支援制度の評価指標の1つであり、国民健康保険の保険者として実施することが求められている。
有効性 (施策貢献度)	予防が可能な糖尿病性腎症による人工透析導入者を減少させることで、医療費や介護費等の社会保障費の抑制を図ることができる。
効率性 (コスト)	生活・栄養指導を行うために最低限必要な人数で実施する。 また事業の趣旨により、参加者から料金を徴収することは適切ではない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり